

<b>Title</b>	序
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所, No.34 別冊, 2006.2 : 7-7
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4302">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4302</a>
<b>Rights</b>	

SERVE

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

## 国際シンポジウム 第二次世界大戦後の教育と宗教

戦後史の中で日本とドイツの歴史はしばしば比較検討の対象であった。その主たる理由は両国が共に戦後驚異的な経済的な復興と発展をとげたことにある。

しかしこの度の国際シンポジウムでは、経済的な側面に傾斜している両国の戦後史の比較研究に対して、より精神的な深層に踏み込むことよって、両国の戦後史の諸問題を比較検討してみたい。すなわちこのシンポジウムでは、宗教の問題、とりわけ宗教と教育の問題に焦点をあてることになる。シンポジウムでは、戦後日本の教育と宗教政策について、また戦後ドイツにおける教育と宗教の問題について、さらには両国の戦後処理にあたったアメリカの基本政策について、という三つの切り口からの報告と議論がなされる。